

ヒアリング対象課題の選定の考え方

【前提条件】

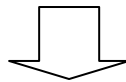
ヒアリング対象件数（＝一次審査による絞り込み件数）（想定）

- ・ 採択予定件数の 2 倍程度
（ソフト・ハードそれぞれ 5 ～ 10 件程度）

【一次審査】

行政（道路局担当補佐）及び研究所（国総研担当室長、土研担当上席）による評価

- ・ 5 段階で評価（最高点 100 点、最低点 20 点）

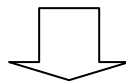


ヒアリング対象としない課題について、以下の観点から整理

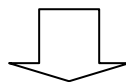
【実現性】 成果が明確でない、手順が明確でない、
行政ニーズが高くない 等

【実施体制】 体制が適切でない、費用が適切でない 等

【創造性】



ソフト 10 件・ハード 11 件をヒアリング対象課題（案）として選定

【ヒアリング審査】

ヒアリング審査を踏まえ、ソフト 5 件（本採択 2 件・F S 採択 3 件）、ハード 5 件（本採択 3 件・F S 採択 2 件）を二次審査上程案件として選定